

まほらいな市民大学の様子

令和3年6月28日（月） まほらいな市民大学講座

『 学生自治会 自主講座 』

- 発表者 ① 22期生 河野 康久さん「水戸黄門について」
② 22期生 伊藤 忠朗さん「ハーモニカによる唱歌」
③ 指導員 二木 栄次 先生 23期生 北澤 辰明 さん
「あの素晴らしいフォーク

ソングをもう一度」

「自主講座」は学生自治会が企画運営する手作りの講座です。今回は3つの発表がありました。

河野康久さんからは「徳川光圀はどんな人物か、その業績は」、「テレビドラマ水戸黄門にまつわる話」の発表がありました。多くの資料を収集し、とても興味深い発表でした。水路を造った話など、徳川光圀の知られていない一面を知ることができました。またドラマで印籠を誰が何回出したか、助さん・格さんは実在したかなど、とても楽しい話でした。

伊藤忠朗さんは詩吟の音程とりにハーモニカを使うようになり、その後唱歌などの演奏をするようになったということです。「ふるさと」「早春賦」「旅愁」「知床旅情」…など8曲を演奏しました。学生は「幼い頃を思い出し、両親のことを思い出したりして涙がこみ上げてきた。心にずしりと響いてとても感動した。」とハーモニカ演奏に聴き入っていました。

二木栄次さん・北澤辰明さんのギター演奏とフォークソングでは、「あの素晴らしい愛をもう一度」「学生街の喫茶店」…などの弾き語りがあり、「楽しかった、せつなかった青春時代を思い出し、一緒に口ずさんでいた。」「若かりし頃を思い出し、懐かしく聴いていた。」「ギター演奏がすばらしく、心を癒してくれました。」といった感想がありました。

今回は新型コロナの影響で、声を出して一緒に歌うことができませんでしたが、「早くコロナが終息し、みんなで大きな声で歌いたい」といった感想がありました。

それぞれに趣味・特技があり、『老いても更に学ぶ』思いや、『好きなことをずっとあきらめず続ける大切さを感じている』といったことが伝わり、生きる力や勇気をもった楽しいひとときの自主講座となりました。

